

# 熊野古道

## みちくさ記

4

早朝の大阪・天王寺から阪堺電気軌道上町線に沿って熊野街道を訪ねた。チンチン電車



松虫塚 (大阪市阿倍野区松虫通) にて

### 阪堺電車で阿倍王子神社へ

絵と文・熱田親憲 題字・熱田秦華

名のルーツを尋ねる宅になった今もこの地と、熊野街道と交差する松虫通りの「松虫塚」に案内して下さった。この塚は、ここを通った旅人が松虫の声に聴き入り命が絶えたことを憐んで供養のために建てられたといふ。神木の元に何本か

の石塚が立ち並び、地元の方に尊崇されていたようだ。また他の言い伝えによると、後鳥羽上皇に仕えた松虫、鈴虫の姉妹官女が出家し、この地に松虫の局が来て草庵を結んだとある。多分、熊野への旅人もこの地で虫の音色に道中の疲れを癒やしたであろう。住

## 「松虫」「清明」伝説生き続け

豪族・安倍氏が氏神として建立。一度衰微したが、熊野詣でが盛んになり熊野権現を合祀して熊野の王子社となった。府下で唯一現存する王子社である。境内には楠の大きな神木が3本あり、厳かな霧囲気に包まれる。安倍晴明(921〜1005)の父はこの阿倍野区阿倍野の出身で「葛の葉伝説」によると母は信太の森の狐星で予測する時代となっていたが、陰陽師はさしずめ当時の気象庁長官であろうか。今は9月

忠行に見込まれ、陰陽家として順調に出世し、天文博士になり従四位下に昇級。天体を占見てあらゆることを占め、花山天皇の退位を予知したり、大江山の鬼退治を指導した事など有名である。今では、陰陽師といふ。清明公の活躍を描いた狂言師・野村萬齋主演の映画「陰陽師」(2001年)が公開された後、安倍晴明神社は若者であふれかえったが、今でも土日は結構にぎわっている。社務所内では占いコーナーも毎日開かれており、陰陽道は私たちの生活にしっかりと根付き、生きていく。

(次回3月28日掲載予定)